

平成 27 年 11 月 26 日

横浜市立小学校校長様
横浜市立小学校算数部主任様

横浜市小学校教育研究会長 石橋 孝重
横浜市小学校算数教育研究会長 清水 誉志人

「市算研ニュース」のお知らせ

向寒の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。横浜市算数教育研究会の活動につきましては、日頃よりご理解、ご支援をいただき深く感謝しております。

さて、本研究会では、研究会の様子を「市算研ニュース」としてお伝えしております。貴校算数部の先生方を中心に、是非皆様にご覧いただけますようお願い申し上げます。

市算研の活動（11月）

- 12月一斉授業研究会指導案検討
授業スタイル提案による事前提案と協議が行われました。
- 幹事研修会
関プロ大会の検討と神数連横浜大会実行委員会が行われました。
- 神数連横浜大会
11月19日(木)に青木小学校で神数連横浜大会が開かれました。ご協力いただいた先生方ありがとうございました。



＜神数連横浜大会の分科会＞
参会者多く、教室がいっぱいになりました。

各部会の様子 -12月授業研究会指導案検討-

今年度は4方面で各2つの研究授業を行います。
11月の市研では、授業スタイルによる指導案検討が行われました。そこでの講師先生のご指導と当日の見どころをまとめました。

5年「単位量あたりの大きさ」羽沢小学校 久保真梨子先生



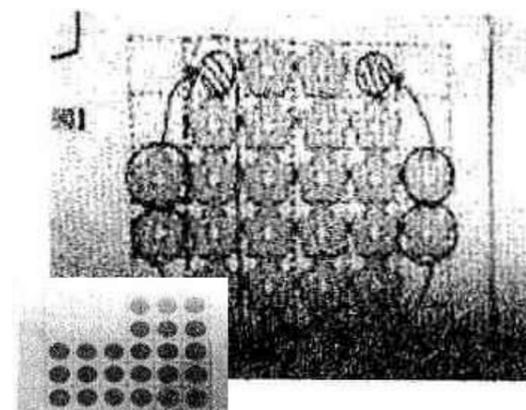
＜講師の指導＞齊藤先生(羽沢小校長) 久保田先生(青木小校長)

日常に算数を生かす際、数値化するアイディアに気付けるようにすることが大切である。数学的な学びのプロセスを大事にし、納得につながる理解にしてほしい。比べられるか比べられ

＜授業の見どころ＞

生活に根差した場面から導入することで、問題解決のために必要な条件を考える力を伸ばす。

2年「かけ算(2)」六つ川台小学校 田中秋人先生

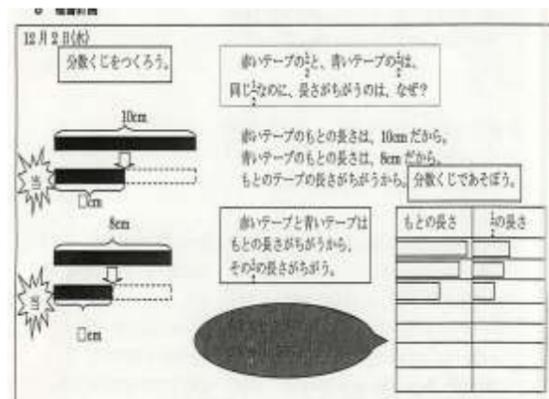


＜講師の指導＞柳澤先生(六つ川台小校長) 原田先生(永田小校長)
16という数を様々な数のまとまりのいくつ分と捉え、数の見方を豊かにしていけるようにしたい。式と図を結び付けるときには、どのようなまとまりで考えたのかははっきりさせられるとよい。

＜授業の見どころ＞

まとまりを捉えて、あめの数をかけ算で求められると気付いたり、式と図を結び付けて考えたりできるか。

2年「分数」鶴ヶ峯小学校 源憲一先生



＜講師の指導＞清水先生(鶴ヶ峯小校長) 菊地先生(今宿南小校長)
元の大きさを意識するためにきちんと折って開く活動をするとうい。どんな子どもを育てたいか考えて指導にあたる大切である。分数の見方が大きく変わるので、これから分数を学ぶ上で重要な場面である。

＜授業の見どころ＞

もとの長さが違っても1/2でも大きさが変わることを児童が根拠をもって説明し、分数くじに楽しく取り組めるか。

4年「広さを調べよう」西が岡小学校 福田正道先生



＜講師の指導＞芝先生(東中田小校長) 伊藤先生(中和南小校長)
本時から子どもたちが面積の求積方法を考える機会につなげてほしい。
「㎡」という大きな量感を体験できるのはよい。事前に細かい点まで指導しておくことが必要になる。

＜授業の見どころ＞

・面積の導入場面で「㎡」の単位を扱い、実際に敷きつめをさせることで、量感を豊かにできるようにする。

4年「変わり方」浜小学校 梅本樹徳先生



＜講師の指導＞ 南部先生（浜小校長）
表を見て式に表したのについて、きまりが正しいのか、図に戻って考えることが大切である。自分の考えに責任を持つ子どもを育てたい。
変わらないものに注目することも必要である。

＜授業の見どころ＞
いくつかの場面を観察することで、児童がともなって変わるものを見つけて問題を解決できるか。

6年「速さ」芹が谷南小学校 宮澤進一先生



＜講師の指導＞ 丸山先生（永谷小校長）
・指導案の検討に際して、提案者の意図を組んで、自分ならどうするかという意見が多く出されていた。参加者が主体的に考えることが大切である。充実した授業研究会にしてほしい。

＜授業の見どころ＞
1年生と6年生が対等に競走する方法を考える。これまでの速さの学習を子どもたちがどう生かすか。

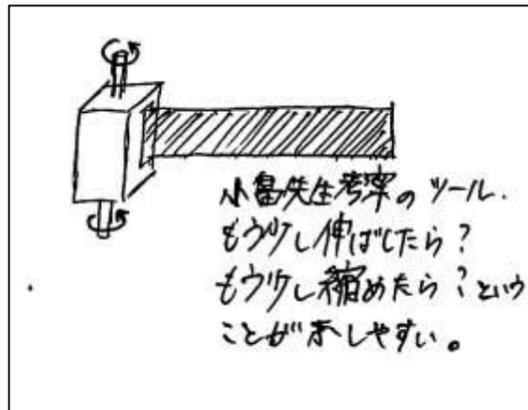
5年「百分率とグラフ」山下みどり台小学校 渡辺将道先生



＜講師の指導＞ 小林先生（山下みどり台小校長）
子どもの反応をたくさん想定しておいた上で、授業中にデザイン変更できるようにする。考えることを焦点化し、言葉や数、式、図を用いて、子どもの力でまとめていけるようにしてほしい。

＜授業の見どころ＞
日常の場面の問題解決をするために、児童が必要な条件を見つけたり、割合の見方を用いたりできるか。

4年「小数のかけ算とわり算」鉄小学校 小畠政博先生



＜講師の指導＞ 徳江先生（もえぎ野小校長）
田村先生（東市ヶ尾小校長） 堀江先生（前釜利谷小校長）
倍概念の指導では、数直線を活用し、何が単位か読み取れるようにすることが大切である。場面に応じて差だけでなく、何倍かでも比べられるようにしてほしい。

＜授業の見どころ＞
一輪車で進める距離が伸び、少し上手になったと感じた児童がその根拠を倍の見方で明瞭に説明できるか。

神数連横浜大会

神数連横浜大会が11月19日（木）に青木小学校で行われました。当日の参加者は全体で700人にも上り、熱心な協議が行われました。



横浜からは9本の授業提案と6本の分科会提案がされました。ご提案いただいた先生方、運営にご協力いただいた先生方ありがとうございました。



カラー版は市算数研究会ホームページをご覧ください。「横浜市算数小学校教育研究会」で検索、もしくはYYネットの「teachers' room」から。
まだ、研究会へ登録されていない方も、市研の日に会員登録できます。役員等へお声かけ下さい。

市算数研究会 今後の予定

27年度も後半に入ります。市算研でも多くの活動を計画しています。皆さんの参加をお待ちしています。今からスケジュール調整を！

12月2日(水)全市一斉授業研究会（市内小学校）

- ◆事前申し込みが必要です。研修システムでの申込期間は終了していますので、申し込まれていない方は役員までご連絡ください。
※担当 旭区川井小学校 諸角勇志 (fax: 951-1269 メール: yre-sans@edu.city.yokohama.jp)
- ◆研究会に参加される方は**上履き**と各学校で使用されている**名札**等を忘れずにお持ちください。

12月2日(水) 18:30～ 懇親会（ホテル横浜ガーデン）

各区の幹事の先生方を中心に誘い合ってご参加ください。申し込みそびれた方は市研役員へご連絡ください。

2月6・7日(土・日) 宿泊研修会（マホロバマインズ）

幹事研修会として行います。研修会・懇親会のみ参加もできますが、泊を伴う参加をお勧めします！